

税は貸し付けている土地分納税しなければいけませんし、法人税も当然に納税します。特に土地貸しの場合経費は固定資産税以外ほぼ発生しないので、地代収入の半分程度は課税所得となります。逆を言えば、収益事業を行っている神社（宗教法人）であれば、どれだけ地価の高い土地を広大に所有していても、境内地であれば固定資産税は掛からない、と言う事になりますが、その様な立地の所は収益事業として貸し付けている所が多いでしょうし、山の中の数万坪等であれば境内地でなくても固定資産税は年間数万円、と言つた所かとは思います。

ちなみに、宗教法人が収益事業を行う際に掛かる法人税は営利企業と比較するとややは営利企業と比較するとやや低くなっていますが、これは株式会社の様に最終的な利益を分配（配当）しない事を理由としており、社団や財団においても同様の優遇があります。

この様に、宗教法人も宗教

活動以外の事業を行う際は納税の義務が発生しますし、また宗教活動に関わる事であつても消費税や自動車税、ガソリン税等は当然に掛かってきます。また当然の話ではあります、神職なり僧侶なりが宗教法人から受け取った報酬には、所得税も住民税も掛かってきます。

「宗教活動での収入に税金が掛からない、固定資産税も掛けられないだけ良いじゃないか」と言う意見は当然かと思いますが、仮に神社や寺に事業税を掛けるとすると、數十年に一度の社殿の造営費等を減価償却費として計上する事になる（今は計上していない所が殆どです。意味が無いので）、で、課税所得として毎年残る金額と言うのはかなり少のものになると思います。

又、仮に全ての所有地に固定資産税が掛かる様な事になれば：例えば当職所管神社で周辺地価坪四十万×二千坪＝市

税額八百万としてもその神社

の年間収入は二百万足らず、切り売りするか月極駐車場にするくらいしかないので、所生まれるか、または過疎地域であれば胡散臭い外国資本の会社にメガソーラー用地として売却されるだけでしょう。

極めて個人的な印象ではあります、特に収益事業として土地貸しを行っている社寺は、法人の規模の割にはそこそこの税金を納めているのではないか：：と思いません。

一月
野口八幡社歳旦祭
三明神社歳旦祭
二月
上末八幡社厄除祈祷
天満天神社各種祈祷
三月
池之内八幡神社厄除祈祷
三明神社祈年祭
四月
野口神明社厄除祈祷
天満天神社祈年祭
五月
上末八幡社厄除祈祷
天満天神社厄除祈祷
六月
池之内八幡神社厄除祈祷
三明神社祈年祭
七月
野口八幡社厄除祈祷
天満天神社厄除祈祷
八月
野口神明社厄除祈祷
天満天神社厄除祈祷
九月
池之内八幡神社厄除祈祷
三明神社祈年祭
十月
野口八幡社厄除祈祷
天満天神社厄除祈祷
十一月
池之内八幡神社厄除祈祷
三明神社祈年祭
十二月
野口八幡社厄除祈祷
天満天神社厄除祈祷
一月
野口白山社歳旦祭
二月
野口白山社歳旦祭

正月期間授与所開設について

お正月期間の御守等の授与については左記の通りとなります。

野口神明社歳旦祭
三明神社歳旦祭
上末八幡社：一日午前のみ有人、十五日頃迄無人にて対応。
天満天神社：一日零時より正午頃迄有人、十五日頃迄無人にて対応。
※両社とも無人対応は野菜の無人販売所の様な形式です。

厄除等の祈祷について

池之内、上末、野口の各神社に於ける厄除祈祷は、地域回覧での募集により上記祭典予定の通りに執り行います。下末天満天神社については下末在住でない方も当日申込が可能で、厄除、家内安全、合格（学業成就）祈祷を執り行います。詳しくは十一月中旬以降に公式サイトをご覧下さい。

次回発行予定について

「篠岡神社報」次号010号は、三月下旬頃発行予定です。